



| 形名 | グリル形状 | グリル色調 | BL規格 | 電源仕様 |
|--|------------|-------|-------|-------|
| V-08P ₈ -BL | 角形格子グリル | ホワイト | 便所用Ⅰ型 | 電源プラグ |
| V-08PM ₈ -BL | 丸形パンチンググリル | ホワイト | | 電源プラグ |
| V-08PS ₈ -BL (電気式シャッター付) | 角形格子グリル | ホワイト | | 電源プラグ |
| V-08PP ₈ -BL | 角形格子グリル | ホワイト | 便所用Ⅱ型 | 電源プラグ |

| 形名 | グリル形状 | グリル色調 | BL規格 | 電源仕様 |
|-------------------------|---------|-------|-------|---------|
| V-12PP ₈ -BL | 角形格子グリル | ホワイト | 浴室用Ⅰ型 | 電源コード直付 |

形名によって取扱いが異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。

形名表示位置は「3.各部のなまえ」を参照ください。

取扱説明書

お客様用

お客様自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません)

- 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書を必ずお読みください。なお、ご使用前に「1.安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

1.安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

| 警告 | 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの |
|----|---|
| | <p>〈浴室用タイプ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●内釜式風呂を据付けた浴室では使用しない 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因。 ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●製品に直接水やお湯、かび取りなどをかけない ショート・感電の原因。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さまご相談窓口にご相談ください。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電・けがの原因。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●交流100Vを使用する 火災・感電の原因。 ●異常・故障時には、直ちに使用を中止する 発煙・発火・感電・けがの原因。 〈異常・故障例〉 本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。 ●電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭く 発煙・発火の原因。 ●がたつきがないよう刃の根元まで確実に差し込む 感電・けがの原因。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。 |

| 注意 | 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの |
|----|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。 ●高温(40℃以上)になる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所や有機溶剤のかかる場所では使用しない 火災の原因。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●運転中は羽根の中に指や物を入れない けがの原因。 |

注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの



指示に従う

- 電気工事は必ず電気工事に依頼する
感電の原因。
- お手入れの際は手袋を着用する
着用しないとけがの原因。
- お手入れの後の部品の据付けは確実に
落下によるけがの原因。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
感電・ショートの原因。



プラグを抜く

- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

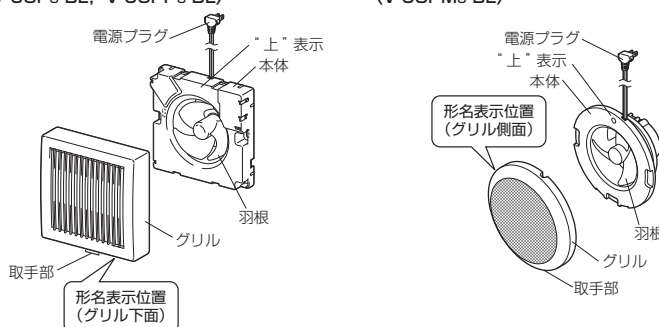
2.ご使用にあたってのお願い

- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください(中性洗剤をご使用ください)。シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など(異常音の発生、変質、変色や故障の原因)

3.各部のなまえ

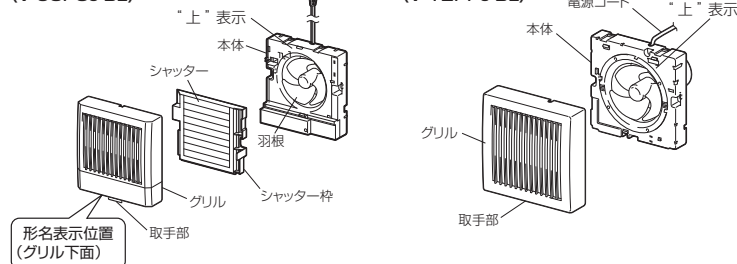
〈V-08P₈-BL, V-08PP₈-BL〉

〈V-08PM₈-BL〉



〈V-08PS₈-BL〉

〈V-12PP₈-BL〉



4.使用方法

運転開始と停止は壁のコントロールスイッチで行います。

浴室用タイプメモ

- 冬場や湯気の量が多いときなどにグリルから水滴が落ちることがありますが異常ではありません。また、入浴剤をご使用の場合は色のついた水滴になる場合があります。
- 入浴時以外は浴槽にフタをしてください。換気扇のいたみを少なくします。
- 給気口があるか確認してください。効果的な換気を行うために必要です。

浴室用タイプの上手な使いかた

- 入浴後、湯を抜くか、浴槽にフタをして3時間以上換気扇を運転し、浴室を乾燥させます。結露・カビの発生を抑制して浴室保全に役立ちます。

5.お手入れ

グリル、羽根、シャッターにほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。

約4か月に1度を目安に清掃してください。

- 長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても安全のための点検(本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください)をお願いします。

警告

- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る
感電・けがの原因。

注意

- お手入れの際は手袋を着用する
着用しないとけがの原因。

お願い

- 洗剤などをご使用の場合は中性洗剤をご使用ください。
- お手入れの際、シャッターはシャッター枠からはずさないでください。また、羽根に衝撃を与えたり、モーターの軸に無理な力をかけないでください。(シャッター開閉不良や、異常音発生の原因)

| 形名 | グリル形状 | グリル色調 | BL規格 | 電源仕様 |
|---------------------------|------------|-------|-------|-------|
| V-08Pa-BL | 角形格子グリル | ホワイト | 便所用Ⅰ型 | 電源プラグ |
| V-08PMa-BL | 丸形パンチンググリル | ホワイト | | 電源プラグ |
| V-08PSa-BL (電気式シャッター付) | 角形格子グリル | ホワイト | 便所用Ⅱ型 | 電源プラグ |
| V-08PPa-BL | 角形格子グリル | ホワイト | | 電源プラグ |

| 形名 | グリル形状 | グリル色調 | BL規格 | 電源仕様 |
|------------|---------|-------|-------|---------|
| V-12PPa-BL | 角形格子グリル | ホワイト | 浴室用Ⅰ型 | 電源コード直付 |

形名によって取扱いが異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。

形名表示位置は「3.各部のなまえ」を参照ください。

据付説明書

販売店・工事店様用

据付けを始める前に、誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を梱包外側の「警告」「注意」で説明しておりますので、この説明書とともによくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

据付終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店様が実施してください。(間違った据付け、工事は、故障や事故の原因になります)
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- 形名をよく確認し、用途にあった場所に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。(故障の原因になります)
- 形名によって据付方法が異なりますので、あらかじめご使用の形名をご確認ください。
- 直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材(屋外フードなど)を据付けてください。
- 雨水浸入防止のため外風の吹き付けの強い場所では風圧シャッター付深形フードを据付けることをおすすめします。
- この製品の運転・停止にはシステム部材または市販のコントロールスイッチが必要です。
- 接続パイプは市販品の塩化ビニル管または鋼板管のいずれかをご用意ください。

| タイプ | 適用パイプ | 付属部品 |
|---------|---|-------|
| V-08タイプ | 塩化ビニル管 VP、VU(呼び径100mm) 鋼板管(内径100mm) | 木ネジ2本 |
| V-12タイプ | 塩化ビニル管 VP、VU(呼び径150mm) 鋼板管(内径150mm) | 木ネジ2本 |

優良住宅部品 (BL 部品) について

- 当社の定める部品要領を逸脱しない据付けに不具合(瑕疵)が生じ、据付作業者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙の貼付(又は刻印など)がされている住宅部品については、一般財団法人ベターリビングのBL保険制度により、保険金が支給されます。
- BL保険制度については、一般財団法人ベターリビングのホームページ (<https://www.cbl.or.jp/>) をご覧ください。

1.安全のために必ず守ること

⇒梱包箱をご確認ください

2.据付前のお願ひ

- 高温(40℃以上)になるところに据付けしないでください。(故障の原因になります)
- 塩害、温泉害の発生している場所には据付けしないでください。(故障の原因になります)
- 燃焼機器の排気口の近くには据付けしないでください。(燃焼機器から排出された排気ガスが含まれた外気が、強風のときなどに室内に侵入すると、異臭などの原因になります)
- システム部材(屋外フードなど)は壁厚にあったものを選んでください。(壁厚により据付けられないものがあります)
- 天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを据付けてください。
- アルミフレキシブルダクトへの据付けはしないでください。(振動の原因になります)
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

3.各部のなまえと外形寸法図

● 各部のなまえ ⇒裏面の取扱説明書の「3.各部のなまえ」をご確認ください

● 外形寸法図 ⇒梱包箱をご確認ください

4.据付方法

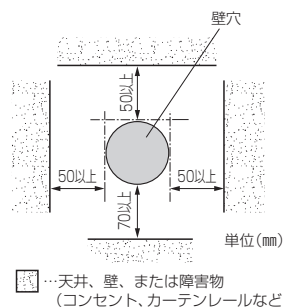
1 据付前の準備

壁据付けの場合(壁穴への接続パイプの固定)

1. 据付場所を決めて穴をあける。
 - 右図の壁穴位置をご確認ください。
 - 接続パイプには塩化ビニル管の薄肉(VU)と厚肉(VP)管および鋼板管があります。
 - 壁厚に応じて長さを決めてください。
 - 必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に据付けてください。

お願ひ

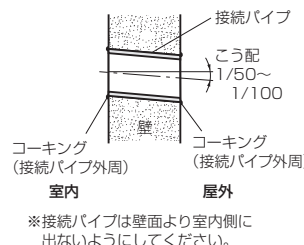
- 据付位置は右図の位置になるようにしてください。
- 右図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合や、メンテナンスができなくなる場合があります。



2. 壁穴に接続パイプを確実に固定する。
 接続パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。
 - 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
 - 室内への水浸入を防ぐため、接続パイプは室内壁面まで差し込みます。

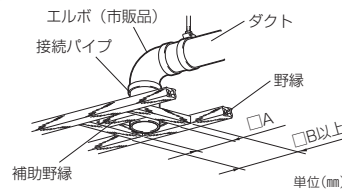
お願ひ

- 接続パイプは雨水の浸入を防ぐため、屋外側に下りこう配をつけ、固定してください。



天井据付けの場合(野縁工事でダクト工事)

1. 右図のように野縁工事をし、ダクト工事をする。



| タイプ | A | B |
|---------|------|------|
| V-08タイプ | □120 | □180 |
| V-12タイプ | □170 | □230 |

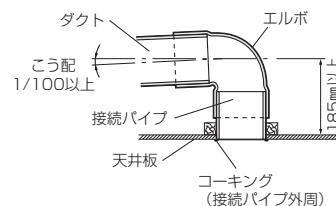
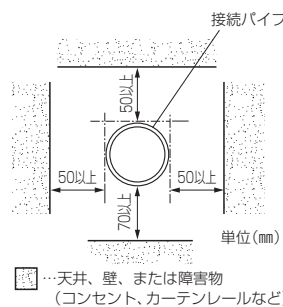
お願ひ

- 接続パイプが壁から右図の位置になるようダクト工事を行ってください。
- 右図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合や、メンテナンスができなくなる場合があります。

2. ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板を張る。
3. エルボと天井板の間は接続パイプを接続する。
4. 接続パイプと天井のすき間はコーキング処理を施す。

お願ひ

- ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外側に1/100以上の下りこう配をつけてください。
- 天井板に強度がないときは補強材を入れてください。



※接続パイプは天井面より室内側に出ないようにしてください。

2 電気工事

■市販のコントロールスイッチを使用される場合は適切なコントロールスイッチを選定して結線してください。

警告

- 交流100Vを使用する
直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。
- D種接地工事を行う
(V-12PPe-BLのみ)
故障や漏電のとき、感電の原因。

注意

- 電気工事は電気工事の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（及び同解説）」及び「内線規程」に従って安全・確実に行う
接続不良や誤った電気工事は、火災・感電の原因。
- 電気工事は電気工事店に依頼する
感電の原因。

電源プラグタイプの場合

内線規程に基づくコンセントを室内の換気扇の近くに設ける。

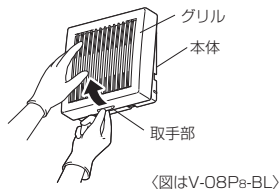
電源コード直付タイプの場合

電線同士の接続を行う場合は電気工事の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（及び同解説）」及び「内線規程」に従って実施してください。

- 防火ダンパー付フードを使用される場合、ダンパーが閉じるときは電源電線をはずさないように配線してください。
- 屋外に電源コンセントを設ける場合は雨の当たらないところに設けてください。

3 本体の据付け（壁据付け・天井据付けともに同様の据付けかたです）

1. 本体からグリルをはずす。



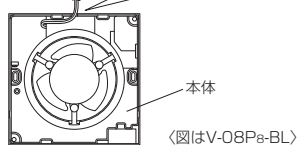
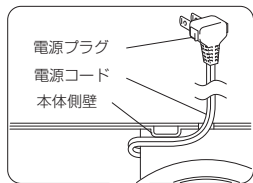
2. 電源コードを配線する。

電源プラグタイプの場合

■電源プラグを上から出す場合

右図のように電源コードをかみ込まないように本体側壁に沿わせて配線してください。

〈V-08Pe-BL、V-08PPe-BLの場合〉



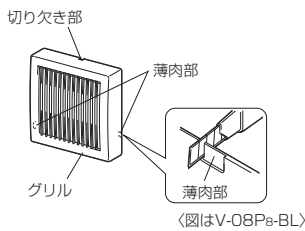
■電源プラグを左右から出す場合

グリルの薄肉部を切り欠いてください。本体上部の切り欠き部は市販のテープなどでふさいでください。

〈V-08Pe-BL、V-08PPe-BL、V-08PMe-BL、V-08PSe-BLの場合〉

お願い

- 電源コードをかみ込まないように本体、グリルの切り欠き部から引き出してください。

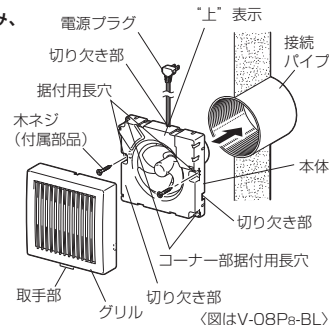


電源コード直付タイプの場合

電源コードと電源電線との接続は、電線に適合したリングスリーブなどを使用し、専用のカシメ工具を用いて確実にカシメ接続して絶縁処理をします。

3. 本体の上下を確認して接続パイプに差し込み、付属の木ネジ2本で本体を固定する。

- 本体の刻印「上」を上側にして据付けてください。
- 左右の据付用長穴をご使用ください。必要に応じてコーナー部据付用長穴（V-12PPe-BLは上下部）をご使用ください。
- 石膏ボードに据付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。



お願い

- インパクトドライバーは使用しないでください。本体の固定部分が破損するおそれがあります。
- 本体を接続パイプに差し込むとき、シャッター中央部（電気式シャッター付タイプ）に力を加えないでください。（シャッター開閉不良の原因になります）

4. グリルを本体に据付ける。

お願い

- 本体に表示された「上」の位置を確認してください。
- グリルの取手部が本体「上」表示の反対側にくるように据付けてください。（据付向きを間違えると落下によるけがの原因）

5. 以上の据付けが終了した後、本体とグリル、シャッター枠が確実に据付けられているか確認する。

5. 試運転

- 製品が運転・停止（V-08PSe-BLはシャッターが開閉）するかを確認してください。
- 異常な音・振動などがないかを確認してください。